

2025年参議院議員選挙：立候補者アンケート回答（2025/7/16時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

各政党の略称は以下の通り。自民＝自由民主党、公明＝公明党、立憲＝立憲民主党、維新＝日本維新の会、共産＝日本共産党、国民＝国民民主党、れいわ＝れいわ新選組、社民＝社会民主党、参政＝参政党。参議院で議席を有していない政党については「諸派」と記載（※回答者からのご連絡を受け、7/16付けで一部回答内容の修正を行っています）

1：そう思わない 2：あまりそう思わない 3：どちらともいえない 4：ややそう思う 5：そう思う 自由記述：特に取り組みたい人権課題は何ですか？			問1 国籍や在留資格で差別せず、日本にいるすべての人の人権を尊重するべきだ	問2 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問3 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問4 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問5 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問6 迫害を受けるおそれがある国に難民申請者を送還するべきではない
北海道	高橋はるみ	自民	3	2	3	3	3	4
		自由記述						
	勝部賢志	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述	人権については、あらゆる差別が解消され、誰もが自分らしく生きられる共生社会に向け、人権政策を抜本強化します。また、性別を問わずその個性と能力を十分に発揮できるジェンダー平等を確立させるとともに、すべての人に居場所と出番のある社会を実現します。具体的には選択的夫婦別姓制度の早期実現、LGBTに関する法整備の推進、入国管理・難民認定制度を改善・透明化することに取り組みます。 特に子どもの人権課題については「ブラック校則」や子どもが自身の権利を訴えられる第三者機関がないこと、さらには不登校の増加が問題視されています。学校での過度な規律は人権侵害とされ、法的整備が求められています。また、第三者委員会についても各自治体における条例制定と委員会設置が求められています。さらに学力テストや授業時数増加が不登校の原因として指摘されており、これらの課題解決に向け、一つひとつ丁寧に取り組んでいきます。					
	オカダ美輪子	維新	5	5	2	3	4	4
		自由記述	偽装難民問題に留意しつつ、難民及び難民申請者への医療・食料等の支援強化や難民申請プロセスの改善など、SDGsの考え方に基づき人道的見地から難民問題に取り組みます。					
	宮内史織	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	ジェンダー平等の日本を実現したいと思っています。選択的夫婦別姓が28年ぶりに国会で議論されました。婚姻をした際に夫婦同性を強制しているのは日本のみで、姓を変更しているのは圧倒的に女性です。名前は人権であり、個人のアイデンティティに関わる問題です。通称利用は国際的には認められません。ジェンダー不平等の象徴的なこの問題を一刻も早く解決します。ジェンダー平等の実現のために、同性婚の実現や男女の賃金格差の是正などにも取り組みます。 先住民族であるアイヌ民族や外国人への差別をおおる主張があります。アイヌ民族に対する歴史的不正義への謝罪を前提に、アイヌ施策推進法の見直しにあたっては国際標準にふさわしい先住権を確立するように改定します。外国人を差別する排外的潮流に反対し、同じ社会で共生できるように、人権を守ります。					
	鈴木まさき	国民	5	4	3	3	3	3
		自由記述	インターネット上の人権問題					
青森	福士ますみ	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述	女性の人権、固定的役割分担意識の改善					
	おぎの優子	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	・独立した難民等保護委員会を設置し、出入国管理と難民保護の機関を分離します。 ・外国人労働者の生活と権利の工場をはかります。・政府から独立した国内人権機関をつくります ・ジェンダー平等の実現。子どもと高齢者、障がい者の人権と尊厳を守る運動をすすめます。					
岩手								
		自由記述						
宮城	石垣のりこ	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述	入管施設の長期収容や人権無視の処遇の改善 イスラエルによるジェノサイドを止めて、ガザの人権状況の改善 在日朝鮮・韓国人やクルド人をはじめとした外国人やLGBTqの方々を対象としたヘイトスピーチの禁止					
秋田	なかいずみ松司	自民	4	3	3	5	4	4
		自由記述						

2025年参議院議員選挙：立候補者アンケート回答（2025/7/16時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

各政党の略称は以下の通り。自民＝自由民主党、公明＝公明党、立憲＝立憲民主党、維新＝日本維新の会、共産＝日本共産党、国民＝国民民主党、れいわ＝れいわ新選組、社民＝社会民主党、参政＝参政党。参議院で議席を有していない政党については「諸派」と記載（※回答者からのご連絡を受け、7/16付けで一部回答内容の修正を行っています）

1：そう思わない 2：あまりそう思わない 3：どちらともいえない 4：ややそう思う 5：そう思う 自由記述：特に取り組みたい人権課題は何ですか？			問1 国籍や在留資格で差別せず、日本にいるすべての人の人権を尊重すべきだ	問2 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問3 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問4 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問5 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問6 迫害を受けるおそれがある国に難民申請者を送還するべきではない
	寺田 静	無所属	5	5	5	5	5	5
		自由記述						
山形	三井寺修	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	ジェンダー平等を前進させたいと思います。日本は、あらゆる分野でジェンダー平等後進国であることから、本気の行動と広い連帯が必要です。選択的夫婦別姓の実現、同性婚を認める民法改正に取り組みます。男女賃金格差を是正する取り組みを支援します。男女雇用機会均等法を抜本的な改正し、間接差別の禁止、銅市価値労働・同一賃金の原則を明記させます。ハラスメントを、明確に禁止する法整備を行い、ILO190号条約（仕事の世界における暴力及びハラスメントの撤廃に関する条約）の批准を進めます。					
福島	石原洋三郎	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述						
茨城	小沼 巧	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述						
	高橋誠一郎	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	再審法の改正をする。袴田巖さんの無罪判決は国家権力による重大な人権侵害です。全面的な証拠開示と再審開始決定に対する検察による不服申し立ての禁止を制度化するなど改正を早急に行う。					
栃木	板津由華	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述						
	福田道夫	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	○ 選択的夫婦別姓、同性婚の早期実現 ○ ヘイトスピーチの根絶 ○ 外国人労働者に、日本人と同等の労働者としての権利保障を確立 ○ 再審法の改正					
群馬	高橋もつ	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述						
	井田雅彦	諸派	5	2	2	2	5	5
		自由記述	こどもの権利					
埼玉	矢倉克夫	公明	4	4	3	4	4	4
		自由記述	ヘイトスピーチの解消、SNS等による人権侵害をなくす、紛争地の人権保護					
	伊藤 岳	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述						
	江原くみ子	国民	2	4	2	2	5	3
		自由記述						
	大津 力	参政	3	3	3	3	4	4
		自由記述						

2025年参議院議員選挙：立候補者アンケート回答（2025/7/16時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

各政党の略称は以下の通り。自民＝自由民主党、公明＝公明党、立憲＝立憲民主党、維新＝日本維新の会、共産＝日本共産党、国民＝国民民主党、れいわ＝れいわ新選組、社民＝社会民主党、参政＝参政党。参議院で議席を有していない政党については「諸派」と記載（※回答者からのご連絡を受け、7/16付けで一部回答内容の修正を行っています）

1：そう思わない 2：あまりそう思わない 3：どちらともいえない 4：ややそう思う 5：そう思う 自由記述：特に取り組みたい人権課題は何ですか？			問1 国籍や在留資格で差別せず、日本にいるすべての人の人権を尊重するべきだ	問2 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問3 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問4 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問5 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問6 迫害を受けるおそれがある国に難民申請者を送還するべきではない
千葉	石井 準一	自民	5	3	3	3	3	3
		自由記述						
	長浜博行	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述						
	白石 ちよ	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	住まいは人権です。大学生が実家を離れてアパート住まいをするのにお金が足らなくて、バイトに追われたり、遠距離通学をするなど、この問題も解決のために頑張りたい。高齢者が住む家を失うなどの話を聞くと、解決のために努力したいと思います。戦争で子供たちの命が奪われ、住むところを壊され、こんな理不尽なことはなし。反戦平和をつらぬいた日本共産党の一員として平和な世界をつくるために頑張ります。					
	小笠原裕	諸派	5	1	1	1	1	1
		自由記述	信教の自由					
東京	川村ゆうだい	公明	4	4	4	4	4	4
		自由記述	居住地によって患者が望む医療を受けられないといったことがないように良質な医療を公正に受けられる権利を守りたい。 なお、問7については、LGBT理解増進法の活用が重要と考える。					
	おくむらまさよし	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述	保育・福祉職員等の労働環境も含めた処遇改善					
	塩村あやか	立憲	5	4	4	4	4	5
		自由記述	えん罪の解消、再審法の改正					
	吉良よし子	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	・理不尽な校則の改善、不登校の子どもたちの休む権利の保証など、子どもの人権を守る活動。 ・高すぎる学費値下げ、給付型奨学金の拡充など、教育を受ける権利を実現する活動。 ・選択的夫婦別姓、男女賃金格差の是正など、ジェンダー平等をすすめる活動 ・性的少数者の権利擁護、あらゆるハラスメントの根絶など、だれもが自分らしく生きられる社会をつくる活動。					
	奥村よしひろ	国民						
		自由記述	移民に関する国際協定には「収容を可能な限り最短期間とする」ことが明記されています。長期収容の背景には、在留特別許可の要件が明確に規定されていないことや行政手続法・行政不服審査法の対象になっていないことによって難民申請者に意見陳述の機会が与えられていないことが挙げられます。意見陳述の機会が与えられないままでの不利益処分には納得できない申請者は、出国を拒否することになるので「原則収容主義」の日本では長期収容につながっているものと考えます。従って難民認定基準を明確化し、難民認定手続きに関わる関連法の整備を行う必要があります。 現在の入管制度には数多くの課題があり、入管法の見直しが必要と考えます。また、日本が難民受入れに関して消極的である点は正の余地があります。難民を欧米諸国並みに受け入れるためには、その前提として、政府の方針や改善策を先行して明確にすることが必要です。 死刑制度を廃止するか維持するかの方針は未定です。今後も党として日本の法務制度について引き続き検討を行います。					
東京	西 みゆか	社民	5	5	5	5	5	5

2025年参议院議員選挙：立候補者アンケート回答（2025/7/16時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

各政党の略称は以下の通り。自民＝自由民主党、公明＝公明党、立憲＝立憲民主党、維新＝日本維新の会、共産＝日本共産党、国民＝国民民主党、れいわ＝れいわ新選組、社民＝社会民主党、参政＝参政党。参議院で議席を有していない政党については「諸派」と記載（※回答者からのご連絡を受け、7/16付けで一部回答内容の修正を行っています）

1：そう思わない 2：あまりそう思わない 3：どちらともいえない 4：ややそう思う 5：そう思う 自由記述：特に取り組みたい人権課題は何ですか？		問1 国籍や在留資格で差別せず、日本にいるすべての人の人権を尊重するべきだ	問2 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問3 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問4 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問5 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問6 迫害を受けるおそれがある国に難民申請者を送還するべきではない
	自由記述	えん罪事件につき何故誤判が生じたのか国会が国政調査権をもって原因を究明し法改正を行い刑事司法制度における人権保障を図るべきと考えます。特に、捜査段階においては、証拠捏造の原因になっている見立てに基づく証拠創作（自白調書を含む）を禁止し、公判においては、証言誘導の原因になっている検察側の証人テスト（証人に対する予行練習）を原則禁止する法整備を行うべきです。また、死刑制度については、適正手続の観点から、米国で死刑制度を存置している州でさえ、①刑事手続、人身保護手続、及び執行方法の適正に関する手続という3つの手続を併行するスーパー・デュープロセスを取っており、②死刑制度の存否はタックスペイヤーが直接選挙で決めることになっていて、③死刑の方が仮釈放なき終身刑よりコストが高いという調査結果を前提に審議されている状態です。日本は、①すらないという状況で、グローバルレベルでいうと人権意識が低すぎる状況です。今後、死刑制度廃止に向けた抜本的議論が必要と考えます。このような司法制度における人権意識の低さがひいては国際的捜査共助の支障となり詐欺等の被害者救済も図れなくなっている現実を日本政府は直視すべきであり、国会は迅速かつ適正な法改正を進めていくべきものと考えます。					
神奈川	佐々木さやか	公明	5	5	4	4	5
		自由記述	国連の人権勧告を踏まえた制度改革（独立した国内人権機関の設置や企業の人権尊重責任の明確化など）に取り組んでいきたい。				
	あさか由香	共産	5	5	5	5	5
		自由記述	選択的夫婦別姓制度の実現。男女賃金格差の是正などジェンダー平等。				
	金子ときお	社民	5	5	5	5	5
		自由記述					
	みしまりえ	無所属	3	3	3	4	3
		自由記述	健康診断の義務化は憲法第13条自己決定権の侵害ですから、定期健康診断を廃止します。				
新潟	打越さくら	立憲	5	5	5	5	5
		自由記述	選択的夫婦別姓、同性婚の実現。非正規雇用や女性の賃金格差の是正。				
	平井えりこ	参政	5	3	3	2	3
		自由記述	不法入国の外国人による犯罪の増加				
富山	庭田幸恵	国民	1	3	2	3	5
		自由記述					
	坂本ひろし	共産	5	5	5	5	5
		自由記述	ジェンダー平等社会、子どもの権利の保障を進めたい。				
石川	村田茂	共産	5	5	5	5	5
		自由記述	同性婚や性的指向・性自認の多様性についての学習				
	はまべ健太	国民	3	3	4	3	3
		自由記述	再審法の改正				
福井	かずえちゃん	立憲	5	5	5	5	5
		自由記述	LGBTQ、入管法（外国人）、在日、被差別部落、再審法				
	山田和雄	共産	5	5	5	5	5
		自由記述	福井県でもえん罪事件（前川事件）でのたたかいがあり、私たちも支援しています。再審法改正など急務です。				

2025年参議院議員選挙：立候補者アンケート回答（2025/7/16時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

各政党の略称は以下の通り。自民＝自由民主党、公明＝公明党、立憲＝立憲民主党、維新＝日本維新の会、共産＝日本共産党、国民＝国民民主党、れいわ＝れいわ新選組、社民＝社会民主党、参政＝参政党。参議院で議席を有していない政党については「諸派」と記載（※回答者からのご連絡を受け、7/16付けで一部回答内容の修正を行っています）

1：そう思わない 2：あまりそう思わない 3：どちらともいえない 4：ややそう思う 5：そう思う 自由記述：特に取り組みたい人権課題は何ですか？			問1 国籍や在留資格で差別せず、日本にいるすべての人の人権を尊重するべきだ	問2 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問3 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問4 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問5 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問6 迫害を受けるおそれがある国に難民申請者を送還するべきではない
山梨	早田記史	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	選択的夫婦別姓の実現をはじめ、女性差別撤廃条約・選択議定書の批准など女性の人権を守る取り組み。					
	後藤ひとし	国民	3	4	4	4	4	4
		自由記述						
長野	羽田次郎	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述	難民支援や人権擁護に深い関心があり、入管制度の見直しや長期収容の是正等について国会で質疑して参りました。ウクライナ避難民については柔軟な在留処置を求め、外国人が持つ再入国許可証の機能向上については、質問主意書で提出させて頂いております。今後も命と権利を守る政治を実現すべく、国内外の人権課題に粘り強く取り組んでまいります。					
岐阜	三尾圭司	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	日本共産党は、日本社会で劇的に高まるジェンダー平等を求める声、運動と力を合わせて、誰もが性別にかかわらず個人の尊厳を大切にされ、自分らしく生きられる、すべての人にとって希望に満ちたジェンダー平等の社会をつくらします。					
静岡	鈴木ちか	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	誰もが人間らしく尊厳を持って生きられる社会にするためにジェンダー平等をすすめます。選択的夫婦別姓の実現、同性婚のための民法改正を早急にとりくみます。ハラスメント禁止、同一価値労働同一賃金などにとりくみます。					
	山口 香苗	諸派	5	3	4	3	3	4
		自由記述						
愛知	田島まいこ	立憲	4	5	4	4	5	4
		自由記述						
	広田 さくら	維新	5	5	2	3	4	4
		自由記述	偽装難民問題に留意しつつ、難民及び難民申請者への医療・食料等の支援強化や難民申請プロセスの改善など、SDG s の考え方に基づき人道的見地から難民問題に取り組めます。					
	すやま初美	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	性の多様性を認め合い、誰もが「個人の尊厳」を尊重される社会をつくるために、理解増進法は見直し、真のLGBT平等法（差別禁止法）の成立をめざします。学校（教育機関）や地域でのLGBT/SOGIの理解促進に力を注ぎます。子ども・若者が、周囲や学校等のLGBT/SOGIに対する無理解から、自己肯定感をはぐくめず、いじめのターゲットとなったり、自死念慮を強めたりしていることが報告されています。当事者の子ども・若者の「居場所づくり」に取り組む民間団体の実践に学び、行政も乗り出し全国的な普及をはかります。					
	つじ恵	れいわ	5	5	5	5	5	5
		自由記述	えん罪根絶					
三重	小島とも子	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述	全ての人権課題に取り組んでいきたいです。					
滋賀	宮本かずひろ	自民	4	4	2	3	2	3
		自由記述						
	岡屋京佑	維新	4	3	3	2	4	4

2025年参議院議員選挙：立候補者アンケート回答（2025/7/16時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

各政党の略称は以下の通り。自民＝自由民主党、公明＝公明党、立憲＝立憲民主党、維新＝日本維新の会、共産＝日本共産党、国民＝国民民主党、れいわ＝れいわ新選組、社民＝社会民主党、参政＝参政党。参議院で議席を有していない政党については「諸派」と記載（※回答者からのご連絡を受け、7/16付けで一部回答内容の修正を行っています）

1：そう思わない 2：あまりそう思わない 3：どちらともいえない 4：ややそう思う 5：そう思う 自由記述：特に取り組みたい人権課題は何ですか？			問1 国籍や在留資格で差別せず、日本にいるすべての人の人権を尊重するべきだ	問2 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問3 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問4 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問5 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問6 迫害を受けるおそれがある国に難民申請者を送還するべきではない
		自由記述	再審法改正、紛争地の子どもの人権					
	佐藤耕平	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述						
京都	山本わかこ	立憲	5	5	4	4	4	4
		自由記述	○国内人権委員会の設置をはじめとした人権侵害救済制度の実現 ○「LGBT差別解消法」の制定 ○同性婚を可能とする法制度の実現 ○選択的夫婦別姓制度の早期実現					
	新実彰平	維新	5	5	2	3	4	4
		自由記述	偽装難民問題に留意しつつ、難民及び難民申請者への医療・食料等の支援強化や難民申請プロセスの改善などSDGsの考え方に基づき人道的見地から難民問題に取り組む					
	倉林明子	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	ジェンダー平等の実現					
	酒井 常雄	国民	3	4	3	4	4	4
		自由記述						
	西郷みなこ	れいわ	4	5	3	4	4	5
		自由記述	子どもの人権です。					
大阪	橋口 れい	立憲	5	5	4	4	4	5
		自由記述						
	佐々木りえ	維新	5	5	2	3	4	4
		自由記述	偽装難民問題に留意しつつの難民申請プロセスの改善					
	清水ただし	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	選択的夫婦別姓を今すぐ実現し、同性婚の法制化をめざします。LGBTQ+のみなさんの人権課題や悩み・息苦しさに関わり、ジェンダー平等を前にすすめます。					
兵庫	高橋光男	公明	5	4	3	4	4	4
		自由記述	DEIの推進					
	金田峰生	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	・選択的夫婦別姓制度即時導入 ・男女の賃金格差是正 ・DV被害者支援強化 ・包括的性教育実施 ・気候変動対策					
	多田ひとみ	国民	2	1	2	2	3	3
		自由記述						



2025年参議院議員選挙：立候補者アンケート回答（2025/7/16時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

各政党の略称は以下の通り。自民＝自由民主党、公明＝公明党、立憲＝立憲民主党、維新＝日本維新の会、共産＝日本共産党、国民＝国民民主党、れいわ＝れいわ新選組、社民＝社会民主党、参政＝参政党。参議院で議席を有していない政党については「諸派」と記載（※回答者からのご連絡を受け、7/16付けで一部回答内容の修正を行っています）

1：そう思わない 2：あまりそう思わない 3：どちらともいえない 4：ややそう思う 5：そう思う 自由記述：特に取り組みたい人権課題は何ですか？			問1 国籍や在留資格で差別せず、日本にいるすべての人の人権を尊重するべきだ	問2 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問3 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問4 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問5 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問6 迫害を受けるおそれがある国に難民申請者を送還するべきではない
	きし文男	社民	5	5	5	5	5	5
		自由記述	日本に住む外国にルーツのある方々への排外的な動きが顕著になっている。共に暮らす住民として、誰もが幸せに生きる権利を守りたい。					
	泉房穂	無所属	5	5	5	5	5	5
		自由記述						
奈良	川戸 康嗣	立憲	5	5	4	4	5	4
		自由記述	先進7か国（G7）の中で最下位の「男女平等問題」です。					
	平まさき	維新	5	5	2	3	4	4
		自由記述	偽装難民問題に留意しつつ、難民及び難民申請者への医療・食料等の支援強化や難民申請プロセスの改善などSDGsの考え方に基づき人道的現地から難民問題に取り組みます。					
	太田敦	共産	5	5	5	5	4	5
		自由記述	男女の賃金格差をなくし、働く場でのジェンダー平等社会を築きます。					
和歌山	前ひさし	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	ジェンダー平等を前進させる政治に変えます。選択的夫婦別姓を早期に実現し、同性婚を認める民法改正を行います。男女の賃金格差を是正します。政治分野におけるパリテに取り組みます。リプロダクティブ・ヘルス＆ライツはじめ、女性の権利が尊重される社会にします。子どもの権利を保障します。ヘイトスピーチ根絶に力を尽くします。アイヌ民族の人権尊重を前進させます。外国人労働者の権利保障を確立し、入管法を抜本改正します。再審法を改正します。					
鳥取・島根	亀谷優子	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	選択的夫婦別姓の早期実現、男女の賃金格差の是正をはじめ、外国人の人権を保障するため、入管法の抜本的改正に取り組んでいきたい。					
岡山	国友 彩葉	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述						
広島	高見篤己	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	ジェンダー平等、気候変動					
山口	関谷拓馬	国民	4	3	3	3	4	3
		自由記述	子供の人権問題					
徳島・高知								
		自由記述						
香川	三宅伸吾	自民	4	3	3	3	2	5
		自由記述	自分ではどうすることもできない困難を抱える方に寄り添うための共助・公助の支援の拡大					
	長尾 まさき	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	教育の無償化は国際人権規約に明記された基本的な人権です。家庭の経済力に左右されず教育を受けられる社会こそ、子どもと若者の未来を支え社会を豊かにします。子どもの権利を保障する教育にします。					
愛媛	ながえ孝子	無所属	5	5	5	5	5	5

2025年参議院議員選挙：立候補者アンケート回答（2025/7/16時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

各政党の略称は以下の通り。自民＝自由民主党、公明＝公明党、立憲＝立憲民主党、維新＝日本維新の会、共産＝日本共産党、国民＝国民民主党、れいわ＝れいわ新選組、社民＝社会民主党、参政＝参政党。参議院で議席を有していない政党については「諸派」と記載（※回答者からのご連絡を受け、7/16付けで一部回答内容の修正を行っています）

1：そう思わない 2：あまりそう思わない 3：どちらともいえない 4：ややそう思う 5：そう思う 自由記述：特に取り組みたい人権課題は何ですか？			問1 国籍や在留資格で差別せず、日本にいるすべての人の人権を尊重するべきだ	問2 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問3 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問4 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問5 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問6 迫害を受けるおそれがある国に難民申請者を送還するべきではない
		自由記述						
福岡	野田くによし	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述	八女市長時代に制定した男女共同参画条例には、「性的マイノリティの方への差別を禁止する」という文言を織り込みました。そのような例は全国で2番目でした。 多様性を尊重する社会の構築はマストです。「オープン・フェア・クリーン」を信条に邁進してまいります。					
	山口ゆうと	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	子どもの不登校問題、子どもの権利条約にそった学校づくり					
	なす敬子	社民	5	5	5	5	5	5
		自由記述	ジェンダー平等社会の実現					
佐賀								
		自由記述						
長崎	つつい涼介	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	LGBTQの権利向上。2年前、トランスジェンダー当事者が投票所でアウティング被害に遭い、是正をもとめて自治体へ要請したことがあった。同じように苦しんでいるLGBTQ当事者を支える制度整備を進めたい。					
熊本	鎌田聡	立憲	5	5	4	5	5	5
		自由記述						
大分	吉田ただとも	立憲	5	5	5	5	4	5
		自由記述						
宮崎	山内佳菜子	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述						
鹿児島	おつじともみ	無所属	5	5	5	4	5	5
		自由記述	選択的夫婦別姓の早期法制化					
沖縄	タカラ さちか	無所属	5	5	5	5	5	5
		自由記述	基地問題と戦時性暴力					
比例	阿部やすひさ	自民	2	2	2	4	3	4
		自由記述						
	長尾敬	自民	5	3	3	3	1	3
		自由記述	中国共産党による、チベット、ウイグル、南モンゴルに対する人権侵害を非難し、救済し、中国共産党への経済制裁を実施できる法整備の構築。不法滞在者等による治安悪化から地域生活者の人権を守る。					
比例	佐々木 雅文	公明	5	5	4	4	3	3
		自由記述						



2025年参議院議員選挙：立候補者アンケート回答（2025/7/16時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

各政党の略称は以下の通り。自民＝自由民主党、公明＝公明党、立憲＝立憲民主党、維新＝日本維新の会、共産＝日本共産党、国民＝国民民主党、れいわ＝れいわ新選組、社民＝社会民主党、参政＝参政党。参議院で議席を有していない政党については「諸派」と記載（※回答者からのご連絡を受け、7/16付けで一部回答内容の修正を行っています）

1：そう思わない 2：あまりそう思わない 3：どちらともいえない 4：ややそう思う 5：そう思う 自由記述：特に取り組みたい人権課題は何ですか？			問1 国籍や在留資格で差別せず、日本にいるすべての人の人権を尊重すべきだ	問2 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問3 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問4 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問5 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問6 迫害を受けるおそれがある国に難民申請者を送還するべきではない
	司 隆史	公明	5	3	3	4	3	5
		自由記述						
	新妻秀規	公明	5	5	4	5	5	5
		自由記述	国内在住外国人～相互理解の推進・共生および課題の解決、女性の権利拡大、同和問題、子どもの貧困・ヤングケアラー					
比例	石川大我	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述	すべての人の人権が尊重されるよう、政府と対峙していきます。また、ヘイトスピーチなどの差別と闘います。まだ、皆が気付いていない人権問題にも気を配れる議員として活動していきます。					
	江畑 弥八郎	立憲	5	5	4	4	5	5
		自由記述	様々な障がい、難病・希少病に苦しむ人や家族を支える施策を拡充させるなど共に安心して暮らせる社会の実現を実感できるようにしていきたい					
	小沢 雅仁	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述						
	岸 まきこ	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述	人権課題は国内外を問わない全人類的課題だと捉え取り組みを進めていきます。					
比例	寺田博英	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述	国際標準の難民制度へ変えていきたい。死刑制度廃止に取り組みたい。					
	西野 克也	立憲	5	4	5	5	5	4
		自由記述	部落差別					
	原谷那美	立憲	5	4	4	3	3	3
		自由記述	犯罪の被害者やその家族、また、加害者の家族に対しての精神的・経済的・社会的なケアが十分に制度化されるよう、調査・検討します。再犯防止と社会復帰の施策を拡充します。					
	平原麗子	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述	ジェンダー平等、人権擁護、犯罪被害者支援					
	古山葉子	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述						
	れんほう	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述						
	渡邊雅行	立憲	5	5	5	5	5	5
		自由記述	子どもや障がい者に対する虐待、企業内でのハラスメント					
比例	嘉田由紀子	維新	5	5	2	3	4	4
		自由記述	偽装難民問題にも十分に目を向けながら、困難な状況に置かれた難民、難民申請者の方々に対し、医療や食料など、必要な支援が届くよう努めてまいります。また、申請のプロセス改善にも取り組み、SDGsの理念に根ざした人道的な視点から誰ひとり取り残さない社会を目指し、難民問題に向き合って参ります。					

2025年参议院議員選挙：立候補者アンケート回答（2025/7/16時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

各政党の略称は以下の通り。自民＝自由民主党、公明＝公明党、立憲＝立憲民主党、維新＝日本維新の会、共産＝日本共産党、国民＝国民民主党、れいわ＝れいわ新選組、社民＝社会民主党、参政＝参政党。参議院で議席を有していない政党については「諸派」と記載（※回答者からのご連絡を受け、7/16付けで一部回答内容の修正を行っています）

1：そう思わない 2：あまりそう思わない 3：どちらともいえない 4：ややそう思う 5：そう思う 自由記述：特に取り組みたい人権課題は何ですか？			問1 国籍や在留資格で差別せず、日本にいるすべての人の人権を尊重するべきだ	問2 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問3 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問4 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問5 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問6 迫害を受けるおそれがある国に難民申請者を送還するべきではない
	久保優太	維新	5	5	2	3	4	4
		自由記述						
	南原たつき	維新	5	5	2	3	4	4
		自由記述	難民、難民申請者への医療、食料等の支援強化					
	柳ヶ瀬裕文	維新	3	3	2	3	4	2
		自由記述	中国の反スパイ法により不当拘束されている日本人5名の早期開放と、中国国内におけるウイグル及びチベットへの人権弾圧状況の改善が実現するよう、日本の外務省の対応をただしていく。					
比例	赤石ひろ子	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	選択的夫婦別姓の実現、男女賃金格差の是正などジェンダー平等					
	伊藤和子	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	性別、人種、国籍、障害などあらゆる差別をなくし、多様性の生きる社会をめざす					
	井上哲士	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	・選択的夫婦別姓制度 ・女子差別撤廃条約選択的議定書の批准 ・トイレの待ち時間の男女平等					
	大岸真弓	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	選択的夫婦別姓をはじめジェンダー平等を前にすすめたい。(子ども食堂や学生食料支援にもとりくんでいます)					
	小山田友子	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	選択的夫婦別姓、同性婚の早期実現。男女賃金格差の是正。子どもの権利が尊重される社会の実現（過度な競争的な教育システムをあらため、子どもの人権を尊重し、豊かな成長を保障する教育条件の整備、子どもの貧困をなくし、教育を受ける権利を保障すること）					
比例	小池 晃	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	外国人差別やヘイトスピーチ					
	白川よう子	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	ジェンダー平等や貧困など経済格差をなくす					
	鈴木弘一	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	性的指向は自分の意思によって選択や変更ができないものです。異性カップルが婚姻によって認められる権利は同性カップルにも認められるべきです。2025年6月現在、5つの高裁すべてで同性婚を認めないことを違憲とする判決がでています。同性婚を認めることは世界の潮流です。最高裁の判決を待たず日本でも同性婚を認める法整備に踏み出すことを求めます。					
	住寄聡美	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	子どもの権利条約に関する課題					
	平 あや子	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	ジェンダー平等を前進させる政治に変えたい。選択的夫婦別姓、同性婚の早期実現、男女賃金格差の是正、職場におけるジェンダー平等などに取り組んでいきたい。リプロダクティブ・ヘルス＆ライツはじめ女性の権利が尊重される社会をめざす。					

2025年参議院議員選挙：立候補者アンケート回答（2025/7/16時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

各政党の略称は以下の通り。自民＝自由民主党、公明＝公明党、立憲＝立憲民主党、維新＝日本維新の会、共産＝日本共産党、国民＝国民民主党、れいわ＝れいわ新選組、社民＝社会民主党、参政＝参政党。参議院で議席を有していない政党については「諸派」と記載（※回答者からのご連絡を受け、7/16付けで一部回答内容の修正を行っています）

1：そう思わない 2：あまりそう思わない 3：どちらともいえない 4：ややそう思う 5：そう思う 自由記述：特に取り組みたい人権課題は何ですか？			問1 国籍や在留資格で差別せず、日本にいるすべての人の人権を尊重するべきだ	問2 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問3 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問4 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問5 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問6 迫害を受けるおそれがある国に難民申請者を送還するべきではない
比例	西山のぶひで	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述						
	畠山和也	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	1993年の「パリ原則」にもとづいて、政府から独立した「国内人権機関」の設置をめざします。人権侵害とたたかう北海道内の当事者や支援団体のみなさんとも懇談し、政府に対して「国内人権機関」の設置を求めてきました。国際的な人権基準にもとづいて、あらゆる人権侵害の訴えに対応し、迅速に調査、救済、是正ができるようにします。 先住民族であるアイヌ民族に対しては、歴史的不正義への謝罪を前提に、アイヌ施策推進法の見直しにあたって国際標準にふさわしい先住権を確立するように取り組みます。外国人に対する排外的潮流を許さず、地域で共生できるように、外国人の人権を守ります。 子どもの権利条約を法制度に反映させます。子どもの意見表明、自己決定権など子どもの権利条約を活かして、子どもを人として尊ぶ社会をめざします。					
	福島かずえ	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	選択的夫婦別姓制度をただちに導入すること					
	まつぎき真琴	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	ジェンダー平等社会の実現					
	矢野 ゆき子	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述						
比例	山下芳生	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	外国人労働者に対する差別をなくすこと。					
	山田みのり	共産	5	5	5	5	5	5
		自由記述	ヘイトスピーチ根絶のため市民と政治家が連帯し、排外主義を押し返すことが求められています。政治家自らがヘイトを広げることが許せません。差別も分断も許さない政治の発信の場を広げます。					
比例	城戸佳織	国民	5	5	4	5	5	5
		自由記述	女性差別撤廃条約に関わる問題。例えば選択的夫婦別姓の実現や個人通報制度を国内適用する課題。最近まで勤務していたインド企業には個人通報制度を意識したハラスメントに対応する通報先が設置されていたし、通報後の対応も明確化されていた。日本企業や官庁できちんと対応している話は聞いたことがない。まずは上司に相談では上司が加害者の場合、被害者は絶対救われない。日本で働く外国人向けにも、それぞれの言語で通報を受ける窓口を設定すべき。通報先がないので弱いもの(日本人含む)が揉み潰されるのだと思う。					
	佐々木よしかず	国民	5	5	5	5	4	5
		自由記述	外国人材の適正な受け入れと共生社会の構築					
	藤井しんご	国民	4	4	4	4	4	4
		自由記述						
比例	大橋ゆうこ	社民	5	5	5	5	5	5
		自由記述	外国人排斥などのヘイトクライムとたたかう					
	甲斐 正康	社民	5	5	5	5	5	5
		自由記述	ジェンダー平等、外国人労働者の人権					

## 2025年参議院議員選挙：立候補者アンケート回答（2025/7/16時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

各政党の略称は以下の通り。自民＝自由民主党、公明＝公明党、立憲＝立憲民主党、維新＝日本維新の会、共産＝日本共産党、国民＝国民民主党、れいわ＝れいわ新選組、社民＝社会民主党、参政＝参政党。参議院で議席を有していない政党については「諸派」と記載（※回答者からのご連絡を受け、7/16付けで一部回答内容の修正を行っています）

1：そう思わない 2：あまりそう思わない 3：どちらともいえない 4：ややそう思う 5：そう思う 自由記述：特に取り組みたい人権課題は何ですか？			問1 国籍や在留資格で差別せず、日本にいるすべての人の人権を尊重すべきだ	問2 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問3 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問4 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問5 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問6 迫害を受けるおそれがある国に難民申請者を送還するべきではない
	花岡 蔚	社民	5	5	5	5	5	5
		自由記述	部落差別と民族差別					
	山城博治	社民	5	5	5	5	5	5
		自由記述	質問項目に挙げられているものには全て賛同致します					
	ラサール石井	社民	5	5	5	5	5	5
		自由記述						
比例	あだち ゆうじ	参政	4	2	2	4	3	3
		自由記述	近年、日本人の出生数の低下が著しく、子供を生み育てることが困難な日本国民が増えています。このままでは、消滅のおそれある地域社会や自治体が増え、日本の将来の世代や伝統・文化の存続が危ぶまれます。日本の未来を守るため、国民の生殖の権利、若い世代の経済や婚姻、家族をつくる権利を具体的に実現可能となるように取り組みたいと思います。					
	岩本まな	参政	4	3	2	3	3	5
		自由記述	特に取り組みたい人権課題は、子ども・女性の人権擁護と健康権の確保、また国内医療体制における『患者ファースト』の実現です。					
比例	大西つねき	諸派	5	3	3	4	5	5
		自由記述	一般の人々が価値観の押し付けなどの人権侵害を平気でやっている。したがって、一部の人たちの権利のみならず、全員の人権を守るための、人権意識の全体の底上げに注力する。					
	浜田聡	諸派	5	5	1	3	1	3
		自由記述	LGBTや難民等といった少数者の人権課題については、特定の価値観を一方的に制度へ反映させるのではなく、自由と多様性を前提とした社会的共存の仕組みを整えることが重要であるとする。たとえばLGBTに関しては、個人の生き方を尊重しつつ、他者への強制や教育現場への過剰介入には慎重であるべきとする立場である。難民政策については、真に保護を必要とする人への支援を行う一方で、制度悪用や経済移民との線引きを厳格に行い、受け入れの透明性と公正性を確保すべきと考える。					
※れいわ新選組（党としての回答）			5	5	5	5	5	5
		自由記述						